帯電防止性

OT(置敷き帯電防止ビニル床タイル)

全点帯電防止タイプなので静電気の発生を抑えます。

■試験方法…JIS A 1454 高分子系張り床材試験方法「電気的特性試験」(23℃.25%RH)

	表面抵抗値(Ω)	体積抵抗値(Ω)
OT(4mm 厚)	1.3×10^{10}	4.3×10^{9}
OT(5mm 厚)	1.1×10^{10}	3.0×10^{9}

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

■数値の判断基準は?

表面抵抗値(Ω)、体積抵抗値(Ω)ともに数値が小さくなるほど帯電防止性が高くなります。

■試験方法…JIS L 1021-16 繊維製床敷物試験方法–第16部「帯電性一歩行試験方法」(23℃.25%RH合成ゴム底)

	測定値	基準値
OT(4mm 厚)	0.2KV	ー
OT(5mm 厚)	0.2KV	
NT-700 F-eco	0.8KV以下	2.0KV以下

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

■数値の判断基準は?

カーペットタイルは2.0KV以下であることが求められます。1.0KV以下であれば高い帯電防止性能があると言えます。

抗菌性

■優れた抗菌性能が菌の増殖を抑制します。

床材の抗菌性能には、感染源となる菌やカビの増殖を防いで、より清潔な環境を作るための補助的な機能があります。
サンゲツの抗菌床材は、抗菌剤を練り込み処理しているため、優れた抗菌効果が長持ちします。

■試験方法…JIS Z 2801抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果

検体を50×50mmに切断したものを試験片としました。この試験片の上に大腸菌、黄色ブドウ球菌の各菌液を滴下し、ポリエチレン製のフィルムを密着させて覆い、35℃、湿度95%の環境下で放置、その後、24時間後の試験片の生菌数を測定しました。また、空のプラスチックシャーレ内に試験菌液のみを滴下したものを、検体と比較対照するサンプルとしました。

■抗菌試験性能結果

商品名	総厚(mm)	抗菌活性値		
		大腸菌	黄色ブドウ球菌	MRSA
ストロング	2.0	5.0	4.7	4.5
エスリューム・リアル	2.0	4.7	6.0	4.5
ｴｽﾘｭｰﾑ ﾐｽﾄ、ﾙｰﾐｰ、ｶﾙﾄﾞ	2.0	5.0	4.7	4.5
エスリューム　マーブル	2.0	4.1	4.4	4.2
エスリューム　プレーン	2.0	4.0	4.9	2.4
消臭レストリューム	2.0	4.3	4.9	4.7
ナーシングフロア	2.0	5.3	4.8	4.6
ナーシングフロアV	2.0	6.1	4.2	4.1
SKフロア	2.8	4.3	4.9	4.7
メディウォーク	4.5	6.0	4.7	4.4
クッションフロア	1.8/2.3	6.2	4.8	4.7
たたみタイル	3.0	5.6	4.8	4.5

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。品番により数値が異なる場合があります。

■数値の判断基準は?

抗菌活性値が2.0以上であると抗菌効果があるとされています。

抗菌活性値=log(B／C)
B:無加工試験片(ポリエチレンフィルム)の
　24時間後の生菌数
C:検体の24時間後の生菌数